

Manifesto

正しい群馬の選択。

4年間でやり遂げる

『山本龍』政策のすべて



りゅう
山本 龍



山本 龍 プロフィール

昭和34年7月生まれ47歳。家族は妻と一男一女。
前橋三中、前橋高校、早稲田大、小渕恵三代議士秘書を経て、平成7年に群馬県議会議員に当選。平成18年7月1日群馬県知事選挙への立候補を表明。県議会議員を辞職し、県内遊説キャラバンを開始。

正しい群馬を選択する会

〒370-0074 高崎市下小鳥町57-4
Tel.027-370-1275 Fax.027-362-1255



正しい群馬の選択。

新しい政治の流れが まっとうな群馬をつくります。

山本龍は、私たち群馬県民一人ひとりの「願い」と「チカラ」と「知恵」を結集して、群馬県政の歪みを正し、正しい群馬の進むべき道を切り拓いていきます。山本龍は「正しい群馬を選択していく、新しい政治の流れ」をあなたと一緒につくっていきます。

●「県民が主体の県政」の実現

群馬県の未来を決めるのは、県庁や政治家ではなく、私たち一人ひとりの県民です。今まで「行政(県庁)」が独占してきた公共的な意思決定や事業の執行に終止符を打ち、私たち県民一人ひとりが地域主権の担い手となり、市民自治、住民自治を確立していかなければなりません。県民一人ひとりの「想い」が大切にされ、「チカラ」と「知恵」が発揮される「県民が主体の県政」を実現していきます。

これを実現するには、私たち自身が「主権者」としての「チカラ」を高め、自らが自立するとともに、さまざまな場面で人々と支えあうことが必要です。そして今までのような「行政」依存ではなく、「住民・市民」が主体となり、これを行政がサポートしていく「新しい県政」「新しい自治」をつくっていかなければなりません。

●群馬県政を正す、新たな政治のうねり

今回の群馬県知事選挙は、これからの群馬の方向性を選択する大きな節目です。群馬県政の歪みを正し、正しい群馬の進むべき道を皆さんと一緒に作り上げていくための戦いです。この戦いは群馬に新たな政治のうねりを生み出し、正しい県政を担う新たな責任ある政治を確立します。

●本気の改革で県民生活を守ります

山本龍は、これまでの県政のごまかしを徹底的に追及し是正します。たとえ愚直といわれようとも、あきらめずに、まっとうな県政、公平な県政をめざして、すべての情報を公開して開かれた議論の中で、正しい県政を確立します。無駄な大型公共工事を見直し、税金のムダ使いを断じて許さず、見せかけの「改革」ではなく、本気で、本物の改革を進め、県民生活の安心・安全を最優先する県政をめざします。

●自由で活気みなぎる日本一住みやすい群馬

また、群馬県は世界都市東京と北信越を結ぶ内陸最大の拠点です。そして首都圏の山の手ともいえる地域です。この特性を活かし、将来道州制が導入された時には、その州都が置かれるような存在感を示していかなければなりません。日本に冠たる群馬県。200万県民が誇りをもてる群馬県にしていけなければなりません。山本龍は、地域間競争に勝ち抜く大胆なプロジェクトと群馬県づくりの方法そのものを皆さんとともに一新していきます。

そのためには、是非とも山本龍が知事にならなければなりません。政権交代が必要なのです。あなたの正しい選択で、まっとうな県政を実現し、自由で活気みなぎる日本一住みやすい群馬を山本龍とともに作りましょう。

正しい群馬の選択。

責任ある公正な県政を貫く ③ つの宣言

① 知事の任期は3期12年に限定

長期に渡る政権は、必ず腐敗します。期限があるから政策実現のスピードがつかます。期限内にできない事はいつまでたってもできません。多選禁止条例を制定し、自らに期限を決めてマニフェストを実現します。また、つねに行政の仕事にも期限を設け、知事自らその実行への決意を示します。

② 知事退職金を廃止します

一期4年で5000万円の知事退職金を廃止します。群馬県はこれから無駄を取り除き、予算の再配分と効率化を徹底します。それには痛みも伴います。先ず知事自らその決意を示し、県民一般の常識を逸脱する退職金を廃止します。

③ 脱しがらみで県政一新

一切のしがらみを断ち切ります。特定の既得権益や地縁・血縁に無縁な県政運営を行います。透明で公正なルールで県民が納得できる県政をつくります。

山本 龍の本気の改革 ⑤ つの柱

① 現場主義を徹底し、現場で見て、聞いて、話して考え、判断します。

② 期限や目標を明確にしたスピードのある明快な県政を展開します。

③ つねに民間の常識や県民の目線で考え、判断し、行動します。

④ 情報公開100%、透明性の高い県政と説明責任を果たします。

⑤ 事業や政策の徹底した「検証と見直し」をつねに行います。

財源700億円・人材確保の ⑤ つの約束

無駄のカットです。「予算がない」の言葉は嘘です。予算はムダに消えただけです。県政の仕組みや機能は制度疲労を起こしています。県民の暮らしや命を守るために税はある、という大原則に戻ります。県行政を総点検し無駄をカットします。

① 小さいけれど役に立つサービス県庁実現 = 100億円のコスト削減

全ての事業を見直し、廃止・統合して、県民サービスに徹する事業に切り替えます。県民から見てこの事業は不用だと思える事業があります。職員自身が不毛な仕事と感じる事業もあります。これらを今までの政治では、見直すことはできません。しがらみの無い山本龍だからこそパッサリ切って、改善できるのです。

② 県庁業務のスリム化実現！ = 100億円のコストを削減

全て民間委託、指定管理者制度、独立行政法人など「群馬版、官から民へ」を推進します。「民」でできることは「民」で行います。県庁は、県でしかできないことに集中します。それによって事務費の削減、空いた施設の売却、さらに浮いた人材の活用で福祉・医療・廃棄物・環境・災害対応・土木・市町村応援に集中できるのです。

③ 県の資産を洗い出して、売却します！ = 100億円の売却益を生み出します

県は多くの遊休資産をもっています。「いつか何かに使えるから」との理由で雨ざらしになったまま。そして土地があれば何かを建てたくくなります。箱を造れば、維持費や配置する職員人件費が発生します。無駄の連鎖が始まります。

④ 人件費抑制、適切な人員の配置 = 400億円の財源を確保します

そのためにはまず、知事自身が自らを削る姿勢を示すことです。一期4年で5000万円の退職金は巨額すぎます。知事退職金を、私の任期中は廃止します。

⑤ 県庁の人材400人を応援派遣します = 400人の人材を確保します

無駄な事業の廃止、業務を簡素化、民間への業務委託などを徹底すれば人材は余ります。県庁の人材400人を、県庁ビルの中から「県民生活の最前線」へ移動します。現場こそ大事です。県民局や市町村役場、学校、治安、民間活動団体などへ派遣し、サービス重視の県庁を現場に広げます。そして、空き部屋を活用し県庁ビルのテナント化を図ります。

正しい群馬の選択。

山本龍が4年間の任期中に実現する

120の政策

ぶれのない政治を実現します。

知事の仕事は、県民の幸福達成をお手伝いすることです。県民の多様な格差の是正に努め、県民の幸福達成を支援します。県民の持つ夢の実現をお手伝いします。

これを実現するためには、県民と行政の距離を近づける必要があります。県民と行政の距離が近くなれば、県民の要望、希望、ニーズを的確に応えることが可能です。県民に身近な問題である福祉、教育、安全、災害、環境、産業、文化、そして行政自身の改革を県民の要望を的確に応えながら進めます。更に、県民の要望を先取りし、未来の群馬に必要な政策を行います。県民と行政の距離を徹底的になくします。

暮らしや命を守ることを最優先に

群馬県の政治は動脈硬化を起こしています。現職多選知事による長期政権の弊害が出ています。現在の群馬県政には無駄があり、県民の要望、希望、ニーズが届いていません。戦後半世紀以上を経て、県政の仕組みや機能も制度疲労を起こしています。しかし、県民の声を群馬県政に反映させ、県民の満足度を上げることは可能です、まだ間に合います。そのためには、知事の大選を改め、知事自ら現場に足を運び、県職員全てが県民の声に耳を傾け、効率的で生産性が高い行政を行う仕組みを構築する必要があります。それは、未来を見据えた抜本的改革によってのみ実現可能です。

だからこそ、私は、群馬県を変えるこの挑戦に立ち上がったのです。税金の無駄遣いはしない。税金は、県民幸福のために、暮らしや命を守ることを最優先に使う。この大原則を貫きます。

このマニフェストを一期4年間で確実に実行するために、マニフェスト実行会議(仮称)と第三者によるマニフェスト検証委員会(仮称)を設置します。

知事一人では実現できません。全庁体制で実現します。また達成度検証は、第三者の厳しいチェックが必要です。

すぐに実現する、10の緊急課題

- ☐ 知事の大選禁止条例(3期12年まで)を制定
知事退職金(3期で1億5000万円)の廃止
- ☐ 通学路の危険箇所緊急点検
- ☐ 特別養護老人ホーム入所待ちを10%解消
- ☐ 15歳までの小児医療費無料化
- ☐ 救命救急センター設置とドクターヘリ運行
- ☐ こどものいじめ虐待ゼロ
- ☐ 100社1万人の新規雇用に着手
- ☐ 犯罪検挙率の10%アップ
- ☐ 渋滞交差点30箇所の緊急改良実施
- ☐ 県政苦情窓口(クレーム・センター)の設置

☒ 達成度をチェックしてください。

山本龍が4年間の任期中に実現する 120の政策

●行財政改革は思い切って行います

- ☐ 情報公開度100%をめざす仕組みをつくります。
(現在、公開度全国37位。「全国市民オンブズマン連絡会議発表情報公開度ランキング」より)
- ☐ すべての県行政分野で外部委託の可能性を探り、コスト削減します。
- ☐ 人材、権限、予算の3点セットで市町村応援。総合交付金をつくります。
- ☐ 県から市町村への事業委譲を調整する県市町村間会議を設置します。
- ☐ 県の予算編成時、市町村の財政担当者との合同会議を行います。
- ☐ 県立施設については、例外なく、あり方を見直し維持費削減を行います。
- ☐ 5年以上放置されている、県所有地を売却します。
- ☐ 2007年度ベースより増収分は公債償還へまわして新規公債発行を抑制します。
- ☐ 天下りの禁止を徹底し、天下りできない仕組みをつくります。
- ☐ 公社、公団など県が関与する団体の整理統合を進めます。
- ☐ 反社会的な行動を起こした職員に対する具体的処分基準を明文化します。
- ☐ 職員配置に際し、本人の希望する職務につかせる、逆指名制度を導入します。
- ☐ 県の職員の残業をなくします。
- ☐ 県主催のイベントで職員を拘束する行政をやめます。
- ☐ 職員の人事及び昇進にはその適性と公正性を図るため、新たに資格制度、試験制度を設けます。

税は大事です。だから知事交際費、何に使っているか見せます。

現場を応援する県政に変えます！県庁へ行かなくても役場で済めば便利です。

今まで建設してきた施設の維持費が膨大です。ここで一度見直します。公営観光事業は売却。

ルールは守ります。組織の馴れ合い庇い合いはストップ。

残業手当32億円削減します。

☒ 達成度をチェックしてください。

●障害者・高齢者を支える

- ☐ 障害者自立支援法による負担増への緩和策を拡充します。
- ☐ 就労支援員、ジョブコーチ制度を確立。障害者雇用率をアップします。
- ☐ 職場のバリアフリー化で障害者の働く場を増やします。
- ☐ 特例子会社を設置する企業への助成を行い、障害者雇用を高めます。
- ☐ 障害者支援センターを市町村へ設置します。
- ☐ 未設置地区に高等養護学校を開校し、就労支援を行う窓口開設を行います。
- ☐ 県営住宅のバリアフリー化を進めます。高層住宅のエレベーター設置や段差の解消。

ジョブコーチを職業として確立すれば、より優秀な人材が集まる。

伊勢崎地区、21年開校を目指す。

高齢者、障害者施設の整備に関しては現場の実情に合わせて弾力的支援を行います。

●医療の安心をつくる

- ☐ 県内の拠点病院整備を市町村と連携します。
- ☐ 学校、宿泊施設、集会施設等へAEDを設置します。
- ☐ 医師会との連絡協調体制強化により、地域密着型の医療体制を向上させます。
- ☐ 検診体制強化のため、市町村助成を行います。
- ☐ 生活習慣病への予防対策を進めます。
- ☐ 医療スタッフの不足解消を図ります。
- ☐ 高額治療費の貸付制度を創設します。
(子供の心臓移植等のための募金が集まるまでの緊急貸付)
- ☐ 受動喫煙防止、公共施設は全面禁煙にします。

助かる命があるなら県は助力を惜しみません。

●がんばる教師と教育の現場を支える

- ☐ 「不登校児ゼロ宣言。不適格教師ゼロ宣言」をします。
- ☐ 教育の現場の負担軽減をめざし、教師が生徒とふれあう時間を確保します。
- ☐ 教員加配により30人学級を実現し、小学校では算数、国語の20人学級化を導入します。
- ☐ 学校事務職の加配で教師の多忙を軽減します。
- ☐ 部活指導の民間講師採用枠拡大を行います。
- ☐ 学校及び周辺安全確保のために、民間警備会社への委託を進めます。
- ☐ 土曜スクール・補習授業に民間教育機関の利用を促進します。
- ☐ 生徒児童の性差を尊重する学校教育へ移行します。
- ☐ 質の改善を伴わない県立高校統廃合は行いません。
- ☐ 食育や環境教育を充実させ、郷土の偉人や産業について多くの実例を使う教育を推進します。

高校統合の是非は就職力、進学力がアップするかが大事です。

各小中学校に警備員を配置します。

群馬の子供が尾瀬や新島襄や田中正造を知らないなんて！国定忠治も知っておきたい人物です。

●開かれた学校へ

- ☐教員採用に身体障害者枠を設け、教師をめざす障害を持つ人を応援します。
- ☐民間人からの教師採用や民間人校長任用制度を実施します。
- ☐学校内の問題は隠蔽しません。通報窓口を設置します。
- ☐地域の人への学校図書貸し出しを行います。図書館司書の配置を進めます。

乙武さんのような先生が教壇に。

●不登校、フリーター対策

- ☐専修学校、職業訓練校などへ、フリーター職業訓練プログラムを委託します。
- ☐不登校児、LD・ADHD児童生徒に専門教員を加配します。
- ☐不登校生徒の学校復帰を行う民間プログラムを支援します。
- ☐学卒後の就労サポート事業を行う民間プログラムを支援します。

先生の頑張り、専門教師の配置、登校への努力。それでも学校へ行けない子供のために、学びの場をつくれます。群馬独自のインターネット授業も検討します。

●働くお母さんを応援する

- ☐学童保育をすべての小学校へ設置します。
- ☐保育園入所待機児童を4年で解消します。
- ☐幼稚園の延長保育を推進するとともに、保育費負担を軽減します。
- ☐高校、専門学校、大学などへの進学奨学金を拡充します。

子育て環境は精一杯整備します。でもパパやママの愛情が一番です。

「奨学金」で開ける夢がある。

●文化・芸術・スポーツで活気ある群馬を

- ☐文化・芸術・スポーツの役割を様々な角度から考える委員会を設置します。
- ☐県内文化芸術関連施設、企画、助成制度などの統合情報ウェブサイトを開設します。
- ☐公立・民間の区別や、県・市町村の区別のない「県内総合情報センター」を設置します。
- ☐文化・芸術・スポーツ関係者のウェブサイト開設の指導や助成を行います。
- ☐図書館に、文化・芸術・スポーツ情報センターとしての機能をもたせます。
- ☐県内各地の図書館に、地域情報センターとしての機能を持たせる支援を行います。
- ☐著作権などの法律相談や、イベント開催の許認可などの相談窓口を設置します。
- ☐文化・芸術・スポーツ関係者の国際交流を支持、支援します。
- ☐県内フィルムコミッション市町村ネットワークをつくれます。
- ☐文化・芸術・スポーツ関係者と産業界の交流を進めます。

財政支援組織ソシオ群馬を創設し、ザスパ、ワイルドナイツ、陸上大会、草の根スポーツイベントからバスケットプロチームの立ち上げなど応援します。

●産業、観光を元気にする

- ☐企業誘致促進と撤退防止に取り組みます。
- ☐企業立地促進条例により、投資額の10%（上限50億円）を助成します。
- ☐地元企業製品を優先購入する仕組みをつくれます。
- ☐異業種交流活動の支援を強化し、特に県内企業同士のビジネスチャンスづくりを進めます。
- ☐県内の企業、自営業者、自由業者のウェブサイト開設指導や助成を行い、ビジネスのIT化を推進します。
- ☐県内各地でビジネスに直接役立つ講演、フォーラムなどを企画開催します。
- ☐ビジネス交流や産業振興を図るための「多目的見本市会場新設検討委員会」を設立します。
- ☐知財管理強化に向けて、商標、特許申請数増加を支援します。
- ☐次世代群馬のために高付加価値産業振興について知事諮問委員会をつくれます。
- ☐県庁業務を民間委託することで新たなビジネス環境づくりを実現します。
- ☐情報通信網設置支援を行い、全ての市町村で高速通信インフラを実現します。
- ☐退職される団塊世代の技術継承を支援する制度をつくれます。
- ☐地元大学、高校その他と連携し、仕事に役立つ市民大学制度をつくれます。
- ☐県の観光政策の実施を、観光協会や旅館組合に委託します。
- ☐観光地や商店街のバリアフリー化を進めます。
- ☐外国人観光客拡大のために調査・研究を行い、県内観光資源活用を支援します。
- ☐WRC、自転車やアドベンチャーレースなどの国際大会の誘致を行います。
- ☐公営観光事業からは撤退します。

県内に拠点を置く、企業は積極的に応援します。ダイハツの撤退を教訓にします。

団塊世代は、群馬でもうひと頑張り。

例えば、伊香保といえば日本のカルガリーとして世界のスケーターが集まる日が来る。

✓ 達成度をチェックしてください。

●農林業群馬モデルを提案

- 群馬ブランドを開発し、園芸や畜産などの生産振興と販売力の強化を支援します。
- 消費者ニーズを調査・研究し、売れる農林産品づくりを支援します。
- 耕作放棄農地対策として食料生産以外に飼料用、燃料用、景観作物を推進します。
- 飼料用稲づくり、エタノール原料稲の調査・研究を行い、作付け面積を減反しない群馬をつくります。
- 飼料用稲の栽培促進で畜産農家の飼料コストを減らします。
- 資源循環型の環境と調和した農業を推進します。（畜産農家と耕種農家の連携の強化や、自然や環境を重視した持続可能な農業の推進です）
- 有害鳥獣対策を拡大し、猟友会の駆除体制強化支援を行います。
- 地産地消や観光農業を支援し進めます。
- 堆肥流通促進に取り組み、滞留している堆肥を流通させます。
- 農林業補助金政策を、直接支払い方式へ転換します。
- 林業担い手を育成するプログラムを拡充し、緑の雇用を拡大します。
- 女性や高齢者が生きがいを持つ施策を推進します。

田を草にする減反は非効率です。減反分を燃料用、飼料米にすることを推進します。

猿、猪・・・このままでは果樹、野菜全滅です。緊急駆除を行い、長期的には里山整備を進めます。

果樹、米など高付加価値の農産物、堆肥、淡水魚など積極的に売り込みます。

直売所、アンテナショップなどコミュニティビジネスへの支援。四国の葉っぱビジネスを見本にします。

群馬の「森、水」へのタダ乗りストップ！1200万都民から一人100円負担で12億円です。まずは石原都知事と交渉をします。

産廃処理コストの増加は産業活動を阻害。例えば、廃瓦の処分が大変です。安く、安全に処理する施設は県の責任で運営します。

●群馬の環境はこうして守ります

- 廃棄物、環境行政は県が責任を持ちます。群馬のゴミは群馬で処理します。
- ゴミ処理施設の立地に関しては住民合意を前提にします。
- 水源に対する負担やスギ花粉対策の負担を下流都県に求めます。
- ごみポイ捨て禁止条例を制定し、環境学習とマナーを群馬が率先します。
- 環境教育・学習を進め、尾瀬や足尾鉾山見学などを学校行事に取り入れます。
- 群馬環境条例を制定します。県民総参加でゴミ縮減、不法投棄撲滅、CO₂削減に努めます。
- 不法投棄監視・撤去の仕組みを見直し強化し、罰則強化の条例を制定します。
- リサイクル型産業を育成します。
- 全国最低水準の污水处理率を大幅に向上させます。（全国37位。「2005年度国土交通省」発表の数字より算出）
- 新規や単独槽からの変更を含め、合併処理槽の設置数を増やします。

- 木質バイオマス燃料の活用を進めるため、間伐材などを燃料とするストーブ、ボイラーの購入に対する補助制度を創設します。
- バイオ燃料利用を進めます。減反分の米のエタノール化を県内で行います。
- ごみ1割減県民運動、2010年度を目標に県内のゴミ排出量を2003年度実績から10%削減に取り組み、達成できるように奨励金で市町村を支援します。
- 企業の省エネ投資（燃料電池や太陽発電など）を支援します。

埼玉県のような県営リサイクルセンター設置を目指します。

群馬の誇る自然を学習の場にします。尾瀬ビジターセンターは戸倉へ移転。鳩待峠への集中を緩和する分散案を検討、電気自動車などを導入します。

●子供も地域も安心安全な群馬

- 警察官や警備会社のパトロール体制を強化します。
- FM放送やインターネットを活用し、防犯・防災情報ネットワークを構築します。
- 市民防犯組織を育成します。
- 災害弱者の避難対策計画を作成します。
- 災害被害、雪下ろしなど直接助成を実施します。
- 国内外の災害時、緊急派遣するチームを設置し、災害対応力を拡充します。
- 災害時のボランティア組織支援と連絡体制を確立します。
- 警察署、消防署、病院などの機能強化、耐震化を促進します。
- 犯罪被害者救済基金を設立します。

犯罪情報はすぐに発信します。親子の安心安全を高めます。子供の安全見守りにICタグの使用など、IT化を検討。

警察事務応援へ県庁職員を派遣するなど現場の警察官の負担を減らします。

独居老人や障害者など災害時の避難対策を行い不安をなくします。

●必要な公共事業はスピード実施

- 市町村要望事業を事業採択では優先します。
- 県民局へ5億円の土木調整費を配分し、工事の円滑化を図ります。
- 工事の質を確保するために積算単価を適正化します。
- これからの県内公共交通機関整備を検討する有識者会議を設置します。
- 通学路の安全性を高めます。歩道・ガードレール、信号を新設します。
- 道路・河川などの防災・砂防工事を促進します。
- 湖沼の水質浄化対策を促進します。
- 公営住宅のバリアフリー化、多世帯住居へ変更、防犯工事などを進めます。
- 20年かけて毎年整備する県庁前モニュメントの工事は中止します。
- 板倉ニュータウンなど団地販売を強力に促進します。

入札改革、罰則強化で談合を無くします。

群馬県庁と書いてある石のステージ、20年後には巨大な巻貝のような塔になる計画。即刻中止します。

✓ 達成度をチェックしてください。

山本 龍だけができる、 正しい群馬の創造

行政改革をやり遂げる本気の改革

私は群馬県議会議員として11年間、人々の願いを、助けを呼ぶ声を県政へ届けてきました。しかし、政治のよどみに打ち消されて、かないませんでした。最後には行政側からの「予算がない」の一言で終わりです。県議会議員として有権者への責任を痛感しながら、議員1人の力ではどうにもならない限界を感じました。しかしながら、「予算がない」の言葉は嘘です。予算はムダに消えたのです。これでは、群馬県民の幸せを守るという政治の目的、私の県議会議員としての責任は果たせません。このことが理由で勝手ながら群馬県議会議員を任期途中で辞職し、昨年7月1日より群馬の暮らしの現場を歩き始めました。

私は、このマニフェストをつくる過程で、多くの県民の皆さまと出会い、語り、時には大いに議論もしました。このマニフェストはその結果であり、県民の要望の集大成ともいえます。この場で厚くお礼申し上げます。私は、このマニフェスト実現に命をかけます。どんな抵抗にも屈せず、無駄をなくし暮らしを守ります。しかしながら、素晴らしいふるさと群馬をつくりあげてゆくには、行政だけではかないません。皆さまのご協力をお願い申し上げます。

議会とのスタンス

知事と議会は二元性民意代表機関として、互いに尊重し、緊張関係を維持することが県民本位の地方自治を築くためには必要なことです。一方が他方の勢力を弱めることを画策し、あるいは排除するような行為は、健全な地方自治を阻害します。したがって私は、議会と知事が互いにその役割を達成するための、自己改革のスピードを競い合うことを望みます。互いに競い、信頼される群馬県政を構築してまいります。そして「行政監視機能」「民意を集約した政策提案機能」を議会が十分に発揮されることを期待します。

10年先を見据えた群馬 市民自治を基盤にした道州制の導入

21世紀は「地域主権・地域分権」の時代です。群馬県はこの分権時代の旗手として確固たる姿勢と存在感を示していきます。県民生活と密接に関りのある市町村が基盤を固め自主・自立の自治ができる体制を積極的に支援するとともに、新しい日本の「国のかたち」をつくっていくために道州制の導入についても積極的に対応し、多元的な地方自治を改め、市町村自治を基盤にした効率的な新たな「国のかたち」をつくっていきます。

群馬は将来、道州制の導入された時には、中心的な役割を果たせる地域として、その拠点性や都市集積を高めていくための政令指定都市づくりを支援していきます。

自分が地域にできること

県民の皆さまそれぞれが、各々の立場から、地域に何ができるかを考えていただきたいと思います。人には、それぞれの立場での権利と同様に義務と責任もあります。

弱者に優しく

県民の自立は必要です。しかし、互助も必要です。もちろん公助は行います。互助と公助の基本は「弱者に優しく」です。弱者に優しい社会を作っていきましょう。

山本 龍 の考える政治

- 障害を持っている方を支える政治
- 不登校や学習障害に苦しむ子供たちを育む政治
- 働くお母さんを応援する政治
- 環境を守りながら産業を伸ばす政治
- 所得と雇用を守る政治
- 一人ひとりが群馬に誇りを持てる政治
- 県民の皆さんと共に前進する政治